

養護老人ホーム 慈愛園老人ホーム 2022 年度 事業報告

1 総括

2022 年度は、前年度同様に既存の物理的資源や人的資源、厳しい財政状況を踏まえた上で、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神、慈愛園創立者モード・パウラス博士の「散らされた人々を集め、ひとりも失われないようにする」という創立の理念並びに老人福祉法（昭和 38 年法律第 133 号）の目的及び基本的理念を今日の状況において具現化するためには何を為すべきかという不断の問いを立て、新型コロナ対策を基盤に据えつつ、入居者の安全、安心と自立（自律）した日常生活を実現するために福祉サービスの公準である公平性、効果性、効率性、接近性に適うことができる良質で適切なサービスを提供するための ICT を活用した体制整備に取り組むことができた。しかし、それらについては未だ十分な状況ではなく、あわせて措置入所の定員確保、職員の専門性の維持増進、人事考課、施設老朽化に伴う改修等々が引き続きの課題として残された。

なお、熊本市による社会福祉施設監査の結果、下記の口頭指摘を受け、法人とも共有しつつ、随時対応しているところである。

（経営事項）

- 慶弔規定の整備（法人全体）

（処遇事項）

- 運営規程：文書保存期間を 5 年に明文化（条令事項）←対応済み
- 事故発生再発防止担当者の決定：主任支援員←対応済み
- 自己評価の実施と公表（年 1 回、HP、園内掲示）
- 苦情受付窓口：熊本市の記載←対応済み
- 預り金規定：園長名修正←対応済み

（運営事項）

- 就業時間：別に定める規定に基づき明文化（前回指摘事項：法人全体）
- 給与規定：実績ベースの支払日は当月と翌月を書き分ける（前回指摘事項：法人全体）
- 就業規則：非常勤の控除規定を明文化（前回指摘事項：法人全体）
- 年次有給休暇取得管理台帳の作成（基準日を記入、職員ごとに管理）
- 消防・避難訓練等 2 回、届け出 2 回必要
- 非常災害対策計画書の策定と周知（消防計画と分離）

助言事項

- 業務継続計画策定（令和 6 年度から策定義務：助言）
- 小口と通帳を分けて管理（助言）

2 主な取組みとその評価

（１）慈愛園創立の理念と実践の理解

- 慈愛園創立期の理念と実践を理解し、現在に継承していくために朝礼時の聖書拝読に加え、『くるみの実のなるころ』の輪読終了後、新たに『愛と福祉のはざまに』の輪読をはじめた。このことを通して、一人一人の職員が慈愛園の歴史と当時のパウラス先生の思いについて学びながら、慈愛園職員としての自覚と福祉実践の意義について確認しつつ、日々の実践を行う体制が確保されてきた。

数値目標	達成状況
なし	1 達成できなかった 2 あまり達成できなかった <u>3 ある程度達成できた</u> 4 達成できた

（２）効率的で持続可能な施設経営と運営管理体制の構築を図る

- ① 2024 年度末まで毎年度ごとに定年退職者が生じることから、それに伴う負の影響を最小限に抑制し、これまでの業務を断続することなく、ベテラン職員が蓄積してきた支援のノウハウを発展的に継続していくために、2022 年度定年退職職員 1 名を再雇用することができた。なお、人事計画の策定については、引き続き課題となっている。
- ② ICT を活用した効率的な情報共有と業務に係るエビデンスを収集するために、Google による無料サービスをはじめ、オープンソースによるデータベースやデータ分析ツールを積極的に活用するとともに、既存データの確実な管理方法についても徐々に整備できている。
- ③ 施設サービスの維持増進を図るためのサービス評価を実施するとともに、個々の職員による自己点検、自己評価の実施並びに、職員会議やケース会議等の各種会議の効率的かつ効果的な実施方法については引き続きの課題となっている。

数値目標	達成状況
なし	1 達成できなかった 2 あまり達成できなかった <u>3 ある程度達成できた</u> 4 達成できた

(3)業務の分業化と多職種連携の徹底

○下記事項については、体制整備をすることができず、達成できなかった。

- ① 業務分掌の確認と業務実施状況の振り返りと課題整理を年間で4回実施する。
- ② 2023 年度の実施を目途に相談員業務と支援員業務の分業化について検討し一定の結論を得る。
- ③ 生活相談員による入居者全員に対する定期的な個別面接の実施を実現し、ニーズ分類を行い、多職種連携を想定した上で支援計画に反映させる。

数値目標	達成状況
なし	1 達成できなかった 2 あまり達成できなかった 3 ある程度達成できた 4 達成できた

(4)措置入所による定員充足率 72%以上、契約入所者 10 名以上の維持

○ 措置入所による定員充足が期待できない状況の中で、一定水準以上の定員充足率を維持していくためには、傷害、疾病や死亡による退所を極力少なくするしかないとの観点から、支援体制と連動した健康管理と栄養管理体制を整備し、モニタリングと早期の介入を意図的に行うことはできたが、措置制度という構造的な要因により、数値目標を達成することはできなかった。

数値目標	達成状況
あり	1 達成できなかった 2 あまり達成できなかった 3 ある程度達成できた 4 達成できた

(5)地域貢献活動

○ 新型コロナウイルス感染症の影響によって地域活動が制限される中で地域の町内会や消防団等の構成員として地域社会への貢献活動を行った。

数値目標	達成状況
なし	1 達成できなかった 2 あまり達成できなかった 3 ある程度達成できた 4 達成できた

3 サービスの利用状況(2023年3月31日現在)

(1)入退所者の状況

- 2022 年度の入退所者の状況については、全体（計）では在宅からの入所が 4 人、病院からの入所が 2 人、施設からの入所が 1 人の合計 7 人であった。一方、退所については、長期入院による退所が 1 人、他施設への移動による退所が 3 人、死亡による退所が 5 人、在宅への移動が 1 人の合計 11 人となっており、入所数を退所数が 4 人上回っていた。

表 3-1 入退所の状況

月	入所者の状況					退所者の状況						1 日現在在籍人数
	在宅	病院	施設	その他	合計	長期入院	他施設	死亡	在宅	その他	合計	
4	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	55
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	55
7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54
8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54
9	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	54
10	1	1	0	0	2	0	0	0	1	0	1	52
11	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	53
12	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	52
1	1	1	0	0	2	0	1	2	0	0	3	52
2	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	52
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51
計	4	2	1		7	1	3	5	1	1	11	—

(2)入居者の状況(表 3-2)

① 定員充足状況等

- 2022 年度末の措置等（緊急入所措置含む）入居者の状況は、定員 70 人に対して 51（措置=48、緊急=3）人であり、定員充足率は 72.9%であった。また、契約入居者は、8 人であった。

② 基本属性

- 性別については、措置等では男性が 18 人 (35.3%)、女性が 33 人 (64.7%) となっており、男性よりも女性の入居者が多かった。また、契約では男性が 3 人 (37.5%)、女性が 5 人 (62.5%) となっており、男性よりも女性の入居者が多かった。
- 年齢については、措置等では男性の平均年齢が 78.44 歳 (S.D.=6.25)、最頻値が 70 代、女性の平均年齢が 84.61 歳 (S.D.=7.83)、最頻値が 80 代となっており、男性よりも女性の年齢が高かった。また、契約では男性の平均年齢が 80.00 歳 (S.D.=9.17)、最頻値が 70 代、女性の平均年齢が 87.60 歳 (S.D.=2.19)、最頻値が 80 代となっており、男性よりも女性の年齢が高かった。

③ 在所期間の状況

- 在所期間については、措置等では男性の平均年数が 5.78 年 (S.D.=5.08)、女性の平均年数が 8.03 年 (S.D.=6.98) であり、男性よりも女性の在所期間が長かった。また、契約等では男性の平均年数が 2.00 年 (S.D.=0.00)、女性の平均年数が 2.00 年 (S.D.=0.71) となっていた。

④ 後見人等の状況

- 後見人等については、措置等の男性では成年後見人がいる者が 1 名 (5.6%)、補佐がいる者が 1 名 (5.6%)、女性では成年後見人がいる者が 2 人 (6.1%)、補佐がいる者が 2 人 (6.1%) であった。また、契約等の男性では成年後見人がいる者が 0 名 (0.0%)、補佐がいる者が 1 名 (33.3%)、女性では成年後見人がいる者が 0 人 (0.0%)、補佐がいる者が 0 人 (0.0%) であった。

⑤ 障害の状況

- 精神障害については、措置等の男性では 8 人 (44.4%)、女性では 5 人 (15.2%)、契約の男性では 1 人 (33.3%)、女性では 0 人 (0.0%) であった。
- 知的障害については、措置等の男性では 0 人 (0.0%)、女性では 1 人 (3.0%)、契約の男性では 0 人 (0.0%)、女性では 0 人 (0.0%) であった。
- 身体障害については、措置等の男性では 4 人 (22.2%)、女性では 1 人 (3.0%)、契約の男性では 1 人 (33.3%)、女性では 1 人 (20.0%) であった。

⑥ 要支援・要介護度の状況

- 要支援・要介護等の状況については、措置等の男性では認定有りが 8 人 (44.4%)、女性では認定有りが 21 人 (63.6%)、契約の男性では認定有りが 2 人 (66.7%)、女性では認定有りが 1 人 (20.0%) であった。
- また、要介護度等の状況については、措置等の男性の最頻値は要介護 1 の 3 人 (37.5%)、女性の最頻値は要介護 2 の 6 人 (28.6%)、契約の男性では要支援

1、要支援2がそれぞれ1人、女性では要介護2が1人となっていた。

⑦ 認知症の有無

- 認知症の有無については、措置等の男性では認知症無しが13人(72.2%)、女性では認知症無しが13人(39.4%)、契約の男性では認知症無しが3人(100.0%)、女性では認知症無しが0人(0.0%)となっていた。

⑧ 居宅サービス利用状況

- 各種の居宅サービスの利用状況については、表3-1の通りであり、措置等では、主に訪問介護やデイサービスを利用し、契約ではこれらのサービスの他に訪問看護を利用していた。

表 3-2 入居者の状況

		措置等=51 (充足率=72.9%)			契約=8		
	Group	計 (措置等)	男性	女性	計 (契約)	男性	女性
n (%)		51 (100.0)	18 (35.3)	33 (64.7)	8 (100.0)	3 (37.5)	5 (62.5)
年齢	平均値 (S.D.)	82.43 (7.83)	78.44 (6.25)	84.61 (7.83)	84.75 (6.50)	80.00 (9.17)	87.60 (2.19)
	最小値	66	66	70	72	72	85
	中央値	82	77.5	85	87	78	87
	最大値	101	92	101	91	90	91
年代 (%)	60代	1 (2.0)	1 (5.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	70代	19 (37.3)	10 (55.6)	9 (27.3)	2 (25.0)	2 (66.7)	0 (0.0)
	80代	20 (39.2)	6 (33.3)	14 (42.4)	4 (50.0)	0 (0.0)	4 (80.0)
	90代	9 (17.6)	1 (5.6)	8 (24.2)	2 (25.0)	1 (33.3)	1 (20.0)
	100代	2 (3.9)	0 (0.0)	2 (6.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
在所期間	平均値 (S.D.)	7.24 (6.42)	5.78 (5.08)	8.03 (6.98)	2.00 (0.53)	2.00 (0.00)	2.00 (0.71)
	最小値	0	0	0	1	2	1
	中央値	5	4.5	6	2	2	2
	最大値	27	17	27	3	2	3
後見人等 (%)	成年後見人	3 (5.9)	1 (5.6)	2 (6.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	補佐	3 (5.9)	1 (5.6)	2 (6.1)	1 (12.5)	1 (33.3)	0 (0.0)
	無し	45 (88.2)	16 (88.9)	29 (87.9)	7 (87.5)	2 (66.7)	5 (100.0)
精神障害有無 (%)	無し	38 (74.5)	10 (55.6)	28 (84.8)	6 (75.0)	2 (66.7)	4 (80.0)
	有る	13 (25.5)	8 (44.4)	5 (15.2)	2 (25.0)	1 (33.3)	1 (20.0)
知的障害有無 (%)	無し	50 (98.0)	18 (100.0)	32 (97.0)	8 (100.0)	3 (100.0)	5 (100.0)
	有る	1 (2.0)	0 (0.0)	1 (3.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
身体障害有無 (%)	無し	46 (90.2)	14 (77.8)	32 (97.0)	6 (75.0)	2 (66.7)	4 (80.0)
	有る	5 (9.8)	4 (22.2)	1 (3.0)	2 (25.0)	1 (33.3)	1 (20.0)
要介護等認定 (%)	認定無し	22 (43.1)	10 (55.6)	12 (36.4)	5 (62.5)	1 (33.3)	4 (80.0)
	認定有り	29 (56.9)	8 (44.4)	21 (63.6)	3 (37.5)	2 (66.7)	1 (20.0)
要介護等 (%)	要支援1	3 (10.3)	2 (25.0)	1 (4.8)	1 (33.3)	1 (50.0)	0 (0.0)
	要支援2	2 (6.9)	0 (0.0)	2 (9.5)	1 (33.3)	1 (50.0)	0 (0.0)
	要介護1	8 (27.6)	3 (37.5)	5 (23.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	要介護2	7 (24.1)	1 (12.5)	6 (28.6)	1 (33.3)	0 (0.0)	1 (100.0)
	要介護3	5 (17.2)	1 (12.5)	4 (19.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	要介護4	3 (10.3)	1 (12.5)	2 (9.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	要介護5	1 (3.4)	0 (0.0)	1 (4.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
認知症有無 (%)	認知症無し	26 (51.0)	13 (72.2)	13 (39.4)	3 (37.5)	3 (100.0)	0 (0.0)
	可能性有り	11 (21.6)	3 (16.7)	8 (24.2)	3 (37.5)	0 (0.0)	3 (60.0)
	認知症有り	14 (27.5)	2 (11.1)	12 (36.4)	2 (25.0)	0 (0.0)	2 (40.0)
福祉用具貸与 (%)	利用無し	35 (68.6)	16 (88.9)	19 (57.6)	6 (75.0)	1 (33.3)	5 (100.0)
	利用有り	16 (31.4)	2 (11.1)	14 (42.4)	2 (25.0)	2 (66.7)	0 (0.0)
訪問介護 (%)	利用無し	47 (92.2)	17 (94.4)	30 (90.9)	6 (75.0)	2 (66.7)	4 (80.0)
	利用有り	4 (7.8)	1 (5.6)	3 (9.1)	2 (25.0)	1 (33.3)	1 (20.0)
デイサービス (%)	利用無し	36 (70.6)	13 (72.2)	23 (69.7)	7 (87.5)	3 (100.0)	4 (80.0)
	利用有り	15 (29.4)	5 (27.8)	10 (30.3)	1 (12.5)	0 (0.0)	1 (20.0)
デイケア (%)	利用無し	46 (90.2)	18 (100.0)	28 (84.8)	7 (87.5)	2 (66.7)	5 (100.0)
	利用有り	5 (9.8)	0 (0.0)	5 (15.2)	1 (12.5)	1 (33.3)	0 (0.0)
訪問看護 (%)	利用無し	51 (100.0)	18 (100.0)	33 (100.0)	6 (75.0)	1 (33.3)	5 (100.0)
	利用有り	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (25.0)	2 (66.7)	0 (0.0)

(3)契約入所の利用状況

- 2022 年度の契約入所の利用状況は、利用定員 14 人に対して 8 人が利用していた。また、2022 年度中の入所はなかったが、高齢に伴う医療ニーズや介護ニーズの重度化に伴い他施設へ移動した 3 人の退所があった。
- このように、2020 年度の契約入所事業開始時においては、自立度が高かった契約入居者も時間の経過とともに、身体機能の低下や認知症の進行などにより、日常生活において支援を必要とするようになってきていることから、契約入居者への支援の在り方も視野に入れた契約書の見直し作業をはじめ、居宅系サービスの導入や他施設への移動を円滑に行うための体制整備が課題になっている。

4 苦情対応の状況

- 2022 年度苦情受付件数は 3 件であり、相談内容は職員の支援内容についての相談が 2 件、新型コロナウイルス感染症対応について 1 件の相談申立てがあった。
- なお、職員の支援内容についての 2 件の相談は苦情解決第三者委員を通じての相談であった。
- ただし、上記件数は 2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までのものであり、算定期間が 2021 年 10 月 1 日から 2022 年 9 月 30 日となる事業概況報告書における苦情解決第三者委員への書面による報告の受付件数は、2 件になっていることを付記しておく。

5 主な行事、研修の実施状況

- 2022 年度の主な園内行事及び研修の実施状況については、下記表に示すとおりであった。
- なお、ボランティア等の受け入れについては、新型コロナウイルス感染症対策のため実績なしとなっている。

表 3-3 2022 年度 慈愛園老人ホーム・ケアハウス年間活動報告

2022 年度 慈愛園老人ホーム・ケアハウス年間活動報告									
月	園内行事	老	ケ	研修会参加状況	老	ケ	実習・ボランティア・施設見学受入れ	老	ケ
4	4/19 誕生会	○	○	4/1(福) 慈愛園新任職員研修(鍋内、朴、奥村)	○	○	※新型コロナウイルス対策のため 2022 年度においては、ボランティア受入れの実績なし	○	○

5	5/17 誕生会	○	○		○	○			
6	6/21 誕生会	○	○	6/7 市老施協職員研修（西村）	○				
7	7/15 慰霊祭	○	○	7/26 県社協：社会福祉法人労務研修（オンライン、福永）	○	○			
	7/19 誕生会	○	○						
8	8/16 誕生会	○	○	8/25～8/26 県社協：リスクマネジメント研修（潮谷一）					
	8/23 防火訓練（消防設備取扱について）	○	○	九州老人福祉施設職員研究 Web 大会（沖縄県、各部署、配信期間 8/1～8/31）					
9	9/13 誕生会	○	○						
	9/19 敬老お祝い会	○	○						
10	10/18 誕生会	○	○						
11	11/15 誕生会			九州老人施設協議会施設長 Web 研修会（鹿児島県、潮谷施設長、配信期間 11/11～12/9）	○	○			
				11/25 慈愛園職員研修（神奈川県、日本基督教団田浦教会、早道、鍋内）	○				
12	12/6 誕生会	○	○	12/15 慈愛園職員研修（神奈川県、日本基督教団田浦教会、早道、鍋内）	○				
	12/14 ホームクリスマス	○	○						
1	1/1 福引大会	○	○				国立看護学校実習受入 (3 名) 1/23～1/26	○	
	1/24 誕生会	○	○						

2	2/9 消火訓練	○	○			国立看護学校実習受入 (3名) 1/30～2/2	○	
	2/14 誕生会	○	○					
3	3/23 防火訓練	○	○					
	3/24 誕生会	○	○	業務継続計画（BPC）作成セミナー（厚労省委託事業（一社）中部産業連盟、オンライン 3/7 三島、3/9 福永）	○	○		

6 施設整備等

○ 2022 年度の主な施設整備・修繕（10 万円以上）及び固定資産の取得については、下記表に示すとおりであった。

表 3-4 2022 年度施設整備・修繕（10 万円以上）

施 設	施設整備・修繕内容	金額（円）	備 考
老人ホーム	エアコン修理（ひかりホーム 2 階エレベーター前）	236,500	旭電業
	エアコン修理（ひかりホーム 2 階廊下）	220,000	旭電業
	非常灯修繕工事	660,000	九電工
	温水機修理	297,000	巴商会
	火災受信機改修工事（落雷のため）	1,162,040	熊本綜合管理
合 計		2,575,540	

表 3-5 2022 年度固定資産の取得

施 設	固定資産名	金額（円）	備 考
老人ホーム	ロールカーテン一式（ひかりホーム食堂）	197,000	さとざき
	包丁まな板殺菌庫	275,000	マルゼン
	壁掛形エアコン（泉ホーム 518 号室）	139,700	テクノ A&E
合 計		611,700	